



北米ホーリネス教団
オレンジ郡
キリスト教会
「週報」

2013年の努力目標

1. 朝の15分の祈りを大切に。
2. 1日2章の聖書日課に励む
3. 日ごとの写教に励む
4. 定期の祈り会に参加
4. 聖書研究・家庭集会への参加
5. 礼拝欠席の時は牧師に連絡を。

◎集会案内◎

日曜 礼拝 : 9:30~10:45am
 コーヒー・アワー : 日曜日 10:45~11:15am
 聖書の学び : 日曜日 11:15~12pm
 みふみ会 : 水曜日 10am
 定例祈禱会 : 水曜日 7:30pm
 早天祈禱会 : 土曜日 7am
 家庭集会 : 各地区に2箇所
 牧 師 : 杉村 幸 (日語部)
 : 益田デーロ (英語部)
 電 話 : (714) 827-6244 (教会)
 : (714) 527-1456 (牧師館)
 E-Mail : sugimura1950@gmail.com
 教会ホームページ : www.occc.org
 教会所在地 : 4872 Bishop St.
 Cypress, CA 90630

石 叫 口

◎石叫■

「さだまさし」

『PHP』アーカイブス4月増刊号に、「23時間57分のぬくもり」という題の、歌手、さだまさしのインタビューが載った。まさしにぬくもりであった。「中学二年の終わりの春休み。当時、バイオリンの勉強のため東京で一人暮らしをしていた僕は、一日もはやく親もとの長崎へ帰りたくて、ある日、キップも、お金も持たずに、急行、「雲仙」に飛び乗りました。東京駅を朝十時三十分に出て、翌朝には長崎に着きます。長崎駅までは二十三時間と五十七分。途中で車掌さんが検札に来れば、すぐに無賃乗車がばれるのは僕にでもわかりません。よくない、と思いつつも、次の横浜駅で引き返そう、と身を硬くしていたら、意外に早く車掌さんが検札にきました。どうしよう。もう、心臓が破裂しそうなほどバクバクです。僕はとつさにポケットに手を突っ込んでキップを探すふりをし、『サイフとキップを落としたみたいです』と泣きそうな顔でウソをついたのです。車掌さんは困った顔で『どこまでいくの』と聞きました。『長崎』と答える僕。一瞬の沈黙が流れたそのとき、向かいに座っていた大学生のお兄さんが立ち上がり、『僕が立替えておきましょう』とキップ代を払ってくれたのです。『同じ長崎だから、長崎に着いたら返してくれたらいいよ』と言って。お兄さんは僕のウソを疑うどころか、『お腹、減っただろう』と昼どきと夕方に、駅弁とお茶を買ってくれ、翌朝にはうどんまで食べさせてくれました。長崎駅に着くとお互いの住所を交換し、僕は『できるだけ早くお返しに上がります』と深々とお辞儀をして走りだしたら、『おーい』とお兄さんが後ろから追いかけてくる。何だろうと思って止まると、『どうやって帰るの』と聞く。『歩いて帰ります』。お兄さんは『歩いてたら時間かかるじゃないか』と百円玉を握らせてくれました。『これは貸すんじゃない。上げるから電車で帰りなさい』。そう言って去ってゆくお兄さんの後ろ姿を見送りながら、涙がぼろぼろこぼれました。おかげで市電に乗って三十分で家に帰ることができ、事情をきいた母はその日のうちに、カステラを持ってお兄さんの家へ、お金を返しに上がりました」

パウロは「喜ぶ者と共に喜び、泣く者と共に泣きなさい」(ローマ十二・15)と命じる。ウソとはいえ、それを疑いもせず、少年さだまさしの痛みを自分のこととして身銭を切ったこの大学生には頭が下がる。パウロは主イエスから、彼のために十字架に身代わるほどの愛のぬくもりをいただいた。それは彼の心についてまでも消えない炎のように熱く、彼の信仰生涯を支え続けた力であった。

「オレンジ郡キリスト教会の歩み」

オレンジ郡キリスト教会は1977年に発足し、東洋宣教会・北米ホーリネス教団に所属するプロテスタント教会の一つです。北米ホーリネス教団は1921年に創立され、現在は日英両語合わせますと2000名を越える会員になります。

私たちの教会は18世紀に、英国で始まったジョンウエスレーによるメソジスト教会の流れを汲みます。そして他のプロテスタント教会同様、3世紀以来告白され続けてきた使徒信条を、私達の信仰告白と致します。

